

最高の洗車技術がここに集結!!

エミネント αII・βII

RO-11X / RO-11L

特長1
**自社仕様に
 カスタマイズOK!**
 目的に合った多種オプションを設定

特長2
環境に配慮!
 消費電力削減・節水機能
 標準搭載

特長3
**緊急停止装置
 標準装備!**
 洗車スペースに安全配慮
 (前後左右4コーナーに
 ワイヤ式センサ搭載)



オプションで
静音仕様
 を設定

△安全に関するご注意・ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。(型式・仕様は予告なく変更することがあります。) ※写真はオプション付仕様です。

エコロジーとエコノミーの両立を実現

環境と経済性の両立を図った、コストパフォーマンスの高い次世代の省エネタイプの洗車機です。
 特にエミネントαIIは節水機能に特化!



※ 静音仕様はオプション

BANZAI NEWS

2011
 Summer
 279

特集 BANZAI NEWS

感動品質 3rd Stage
 感動ソリューション
 最新技術で実現する エコロジー&エコノミー

「安心」を提供する、
 サービスの「特別な価値」とは?



BANZAI 株式会社 バンザイ <http://www.banzai.co.jp>

- | | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <p>本社
 東京都港区芝2-31-19
 TEL 03-3769-6880
 E-mail: teigy@banzai.co.jp</p> | <p>関東支店
 埼玉県北本市朝日4-553
 TEL 048-590-3700
 E-mail: kanto_br@banzai.co.jp</p> | <p>大阪支店
 大阪府市東区3-3-11
 TEL 06-6744-1041
 E-mail: osaka_br@banzai.co.jp</p> | <p>海外販売部
 東京都港区芝2-31-16
 TEL 03-3769-6894</p> | <p>●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山
 山形・新潟・長野・前橋・宇都宮
 水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩
 北陸・三重・京都・神戸・高松</p> |
| <p>札幌支店
 札幌市西区24軒1条7-3-10
 TEL 011-621-4171
 E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp</p> | <p>東京支店
 東京都港区芝2-31-16
 TEL 03-3769-6840
 E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp</p> | <p>広島支店
 広島市西区南観音2-7-10
 TEL 082-233-3201
 E-mail: Hiroshima_br@banzai.co.jp</p> | <p>●出張所 帯広・函館・富山・松山
 岡山・山口・長崎・大分・熊本</p> | <p>●販売会社 バンザイ南九州販売(株)
 バンザイ沖縄販売(株)</p> |
| <p>仙台支店
 仙台市宮城野区福室2-8-21
 TEL 022-258-0221
 E-mail: sendai_br@banzai.co.jp</p> | <p>名古屋支店
 名古屋市中区大須1-29-36
 TEL 052-201-7551
 E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp</p> | <p>福岡支店
 福岡市博多区那珂5-3-15
 TEL 092-411-1261
 E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp</p> | <p>ISO9001・ISO14001
 自動車整備用機器検査用機器の設計開発販売及びサービス
 バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
 お客様とのきずなを大切に、
 お客様満足度の向上を図っています。</p> | |



蔵王御釜 ————— 宮城県蔵王町

山の頂きに緑色の水をたたえる蔵王の御釜。ぽっかりと口を広げた火口湖は、夏雲を映す鏡のように、丸く平らな水面を天空に向けている。強い日差しに湧き上がる雲の峰と青空のコントラストが夏の訪れを告げている。

★歳時記

- 7月 7日 七夕
- 18日 海の日
- 8月 6日 広島平和記念日
- 8日 立秋
- 9日 長崎原爆の日
- 9月 19日 敬老の日
- 23日 秋分の日
- 10月 10日 体育の日



●目次

- ★特集【感動ソリューション 最新技術で実現する エコロジー&エコノミー】… ①
「安心」を提供する、サービスの「特別な価値」とは？
- ★モデルショップ訪問【彌生ディーゼル工業株式会社】…………… ⑥
65年の信頼を基盤に 新たな経営革新を目指す
- ★第32回オートサービスショー開催…………… ⑧
- ★ショールーム…………… ⑩
- ★トピックス<海外情報>中国・北京…………… ⑭
急速に拡大する中国サービス市場へ 北京の展示会でバンザイブランドをアピール
- ★ロータリー…………… ⑯
- ★BANZAIガイド…………… ⑰

特集

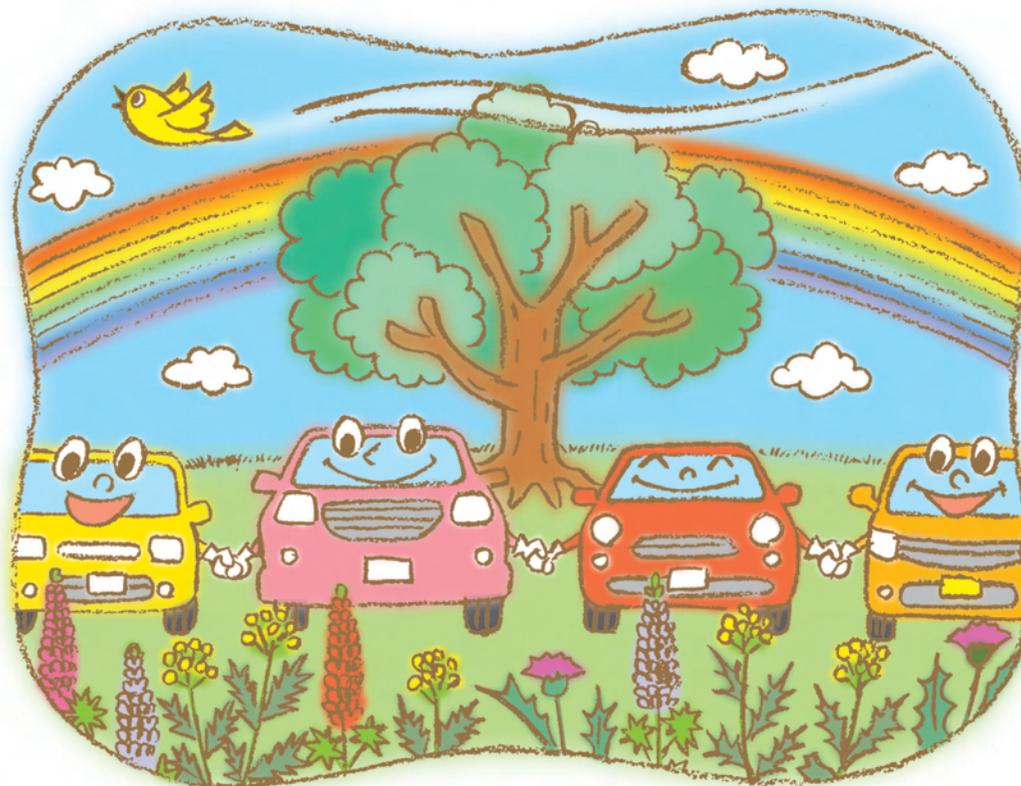
BANZAI NEWS



感動ソリューション

最新技術で実現する エコロジー&エコノミー

PART 3



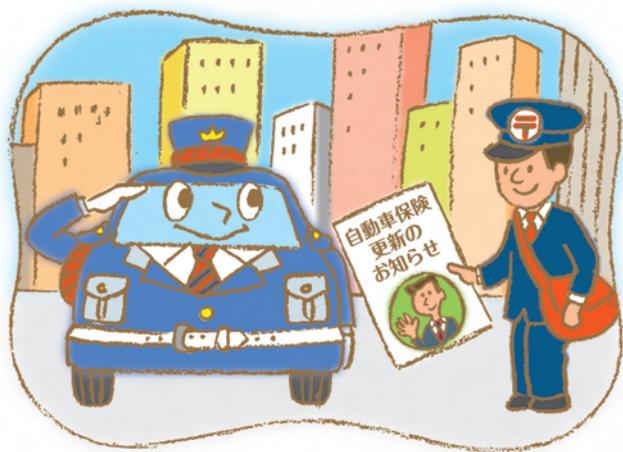
「安心」を提供する、サービスの「特別な価値」とは？

この3月に起こった、かつてない大震災とそれにとまなう津波や原発事故は、多くの人々の生命や財産とともに生活基盤をも失わせる大きな被害をもたらしました。それとともに私たちが日常のなかで享受していた安全、快適な生活というものがいかに貴重なものであったのかを、あらためて痛感させられる契機にもなりました。いまは被害にあわれた皆様の生活基盤の復旧と、被災地の一日も早い復興を願わずにはられません。

「安心」は空気のようなもの？

さて、このたびの震災は日本経済全体にも大きな影響を与えていることはご存知の通りです。自動車の生産、流通面でも長期にわたる影響はまぬがれず、またそれ以外にも生活物資の欠乏という余波も少なくありませんでした。車についていえば、4月の国内生産台数は前年比でなんと約60%マイナスの約29万2千台となりました。また身近な生活物資についても、空になったスーパーの陳列棚や震災直後のガソリンスタンドの行列を思い起こされる方も少なくないでしょう。普段はごく日常的に身の回りにあったものがいとも簡単に失われてしまうという現実を前にして、万一に備えるということの大切さをあらためて認識させられた出来事でした。

わが国では安心と安全は水や空気のようにごく普通に存在するもの、という平和な日常感覚が危険に対する備えをおろそかにさせていたという面も、少なからずあったのではないのでしょうか。

**震災ショックが日本社会に与えた変化**

さて「安心」は危険に対する備えによってもたらされるものです。危険に対する安全の管理、リスクマネジメントともいわれますが、安全は空気のように身の回りに当たり前に存在するものではなく、意識的に求めなければ得られないものであるということです。

欧米では古くから個人主義を前提として、自己責任の原則のもとに社会保障や保険などの制度が発達してきました。すべてが契約で成り立つ社会ともいわれ、自分の安全は自分で守るという考え方が発達してきたように思えます。そういう意味で、今回の震災は安全に対する意識の面でも日本社会や人々の考え方にも変化を及ぼしてくるのではないのでしょうか。

担当者の声に「安心」を実感

前述のように「安心」をコンセプトとするサービスの代表格が保険です。最近では個人情報の保護のためか、代理店とお客様の直接のやり取りは以前より少なくなっているようですが、年に一回の自動車保険の更新は整備工場や保険代理店にとっては顧客コンタクトの重要なポイントにもなっています。逆にお客様の立場でも、年に一度の保険の更新は、自分が安心のサポート体制で守られていることを確認できる機会でもあるのです。「その後お変わりはありますか、そろそろ自動車保険の更新の時期になりました」と、毎年同じ担当者の声を聞くと、「また一年無事に過ごせたんだな」と、お客様は実感できるのです。つまり、保険という商品の効果は、万一の事故の場合以外、普段は「見えない」ことが普通なのです。備えあれば憂いなし、すなわち空気のように見えなくても、つねに「安心」のバリアで身の回りを包んでくれているというわけです。

見えない「価値」を、見えるように…

もちろん自動車サービスも現在ではこうした「安心」をサポートする「備え」のための商品の一つであることは間違いありません。かつて、故障した時の「修理」がサービスの主体だった時代から、故障を未然に防ぐための予防整備の時代へ、さらにそこから一步進んで、現在では診断とその結果をもとに提案を行う診断・提案サービスが積極的に推進されるようになってきました。

故障修理などであれば「直った」という結果が明らかであるし、それがすなわちお客様にとっての「ベネフィット(利益)」に直結しているわけです。つまりサービスの「価値」が明らかに目に見えるわけです。ところが故障を未然に防ぐための予防整備や、部品の劣化状況や走行距離を加味して提案する診断・提案サービスになると、その利益、価値が直接目に見えにくいか、見えても微妙なもの、という場合が多くなります。定期点検整備や燃費改善のためのエコサービス、さらには一般のドライバーには改善の程度が分かりにくいようなアライメントサービスなどもその一例といえるかもしれません。

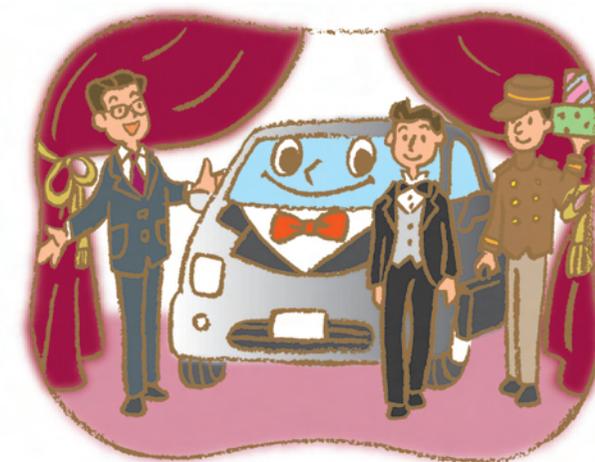
価値が見えにくいということは、差別化ができないということですから、価格も市場原理のままに競争にさらされることになってしまいます。かつて車検整備が価格競争により低価格化していったように、「同じものなら安いほうがいい」という価格志向は消費者として当然の心理ですね。いかにサービスの品質に自信があっても、そこに「違い」をアピールすることができなければ、その対価としての価格を納得していただくこともできません。

モノだけからでは生まれない「感動」の価値

最近では「プレミアム」という言葉をしばしば見聞きしますが、本来の経済学用語とはべつに「特別な価値」や「高級感」のある商品、といった意味で使われているようです。つまり他の商品とは一線を画した「価値」、普通のものとの「違い」を明確にしたいということですね。

サービスのプレミアム性を説明する上で、わが国の西洋式ホテルの草分け、帝国ホテルの料理長を長年勤められていた村上信夫さんに有名なエピソードがあります。帝国ホテルの食堂で食事を楽しんでいるお客様から、その料理のおいしさの秘訣をお客様にたずねられた村上氏、「その料理をお宅に持ち帰って食べてごらん下さい、間違いなくおいしさは半減します」と答えたのだそうです。

つまり「料理そのものの味」は、その「おいしさ」の半分にしかすぎないというのです。料理は材料やレシピ、コックの調理の手際などの要素によってその味わいが決定するわけですが、その料理そのものの占める価値はレストランで食事をするという満足感の半分にしか



過ぎないということなのです。

レストランでは決して食べ物の「モノ」を売っているわけではない。レストランの雰囲気やウェイターのサービス、料理をお出するタイミング、それらを全部合わせた「もてなし」が、料理以外の満足感のあとの半分を占めているというのです。言い換えると、同じ商品、サービスでもその提供の仕方によって価値は二倍にできるということでしょう。

お店だけの「特別な価値」を創ろう！

このようなプレミアムなサービスのあり方を、自動車サービスにあてはめてみたらどうでしょうか？ もちろん、ベーシック車検にオプション整備を付加したプレミアム車検といった、メニューづくりによる「違い」の訴求もありますね。他店ではできないサービス、優位性を持ったメニュー、自社ならではの得意分野を生かしたサービスがプレミアムサービスとしてメニューに加えられたら素晴らしいですね。

いま対応が迫られているHV・EVサービスの専用ストールなども、いち早く導入すればア

ドバンテージになるかもしれません。とくに新しい設備を導入しなくてもできるサービスとしては、検査テスターを活用しての診断・提案サービスも、新しい試みとして取り組んでみてはいかがでしょう。定期来店につながる窒素ガス充填サービスや、ボディ、ガラスコーティングなども、プレミアムな特典を付けた会員制度などに活用できるサービスメニューです。

お店と「人」で創るプレミアムな「価値」

もうひとつ、「商品」サービスメニューとともに、プレミアムな「価値」づくりに不可欠なのが「お店」と「人」の役割です。

ミシュランのガイドブックにはレストランの評価が星の数で示されていますが、これはすなわちそのお店の「プレミアム性」を表現したものとさえいえます。いわばそのお店で「食事することの価値」といってもよいでしょう。それを自動車サービスにあてはめるならば、サービスのプレミアムな価値とは、「その工場

でサービスを受けること」も含まれているのでしょう。本欄でも以前ご提案した「ブランドづくり」もプレミアムなお店づくりの一形態といえるかもしれません。

どういう工場で、どういうメカニックが愛車の整備を行うのか、さらにいえば、ショップの雰囲気、おもてなしまで、それらを含めたものがサービスの「特別な価値=プレミアム」、ということができるといえるでしょう。

スタッフ全員で支える、お客様の満足度

レストランの例でいうなら、有名レストランの厨房には、やはり有名なコックやシェフがい

るものです。サービス工場でも、欧州車などの専門のショップにはユーザーにも名の知られたエンジニアがいたりするものです。いわば、人・技術に関わる「プレミアム」ですね。

2002年からスタートした1級自動車整備士の試験も、いわばこうした人と技能に関わるプレミアムな資格認定制度といえるでしょう。優秀な技能を資格として認定し、整備士全体の技能向上を図るとのことです。

一般のサービス工場にも、「電装系なら〇〇さん」「足回りなら〇〇君」といったスペシャリストがいるはず。あるいはどのメーカー車なら誰々、低年式車なら誰々、などといった得意分野もあるかもしれません。このような部分はいわば技術のプレミアムとして、お客様にもアピールできるのではないのでしょうか。

またサービスの主役がメカニックだとすれば、それを支える脇役や黒子(くろこ)も重要な役割を担っているのがサービスショップですね。サービスの信頼性に加えて、ご来店からお帰りになるまで、直接・間接にお客様と対応するスタッフすべてが、お客様の満足度を

支えているのです。

先ほどの帝国ホテルの例でいえば、お客様の快適な滞在や食事をサポートするのは、お客様と直接対面するスタッフばかりではありません。同ホテルの定評のあるサービスは、ドアマンからベルボーイまでさまざまな感動伝説を持ったスタッフや、これも高い評価のあるコンシェルジュサービス、同ホテルが最初ともいわれるランドリーサービスなど、裏方としてお客様のサービスにあたるすべてのスタッフに支えられているのです。

お金では買えない、プライスレスな安心を…

あるクレジット会社のCMシリーズで、モノの価格をいくつも並べ上げるストーリーのものがありません。「ニューヨークへの飛行機代〇〇ドル、ミュージカルの切符〇〇ドル、…」などといったように。つまりクレジットカードで買えないものは感動だけで、それ以外のはすべてカードで買えますよ、というコンセプトなのですが、このCMのメッセージの中で「some things money can't buy」つまり「お金では買えない何か」、つまり「感動の体験」のことを「プライスレス」と表現しているのです。つまり「価格がないもの」ですね。

感動はお金では手に入らないけれど、その感動につながるモノ、例えば旅行やオペラの切符、有名ブランドのバッグならお金で手に入れることができますね。

自動車サービスでもこの「感動」を「安心」に置き換えてみれば、まったく同様に意味が繋がります。安心はお金では買えませんが、お客様の「安心」につながるサービスや「笑顔」なら、当店で簡単に手に入りますよ、と…。



65年の信頼を基盤に、 新たな経営革新を目指す

大型車整備の専門工場として65年の歴史を持つ彌生チーゼル工業(株)では、このたび本社サービス工場を移転、新築し、各種最新設備の導入により、作業効率と環境の両面でハイレベルな改善を実現した新工場を完成。長年にわたる顧客の信頼を基盤に、安全、安心のサービスを提供、さらに一層の飛躍を目指して新たな一歩を踏み出しました。



ボルボトラックのサブディーラーとしてサービスに対応



サービスストール5ストールと
検査ラインからなるサービス工場

働きやすさ優先、作業性・環境を両立

同社の新工場がオープンしたのは、江戸川区の環状7号線と首都高速湾岸線の交差する葛西トラクターミナルの一角です。今回の移転は昭和44年以来工場を構えていた平和島の京浜トラクターミナルの再開発にともなうもので、あわせて設備機器全般も最新のものに一新されています。

新工場の計画にあたっては「作業効率、環境面をあわせて従業員の働きやすい職場に、それを最優先に考えました」と、細田健社長。また立地の変化にともない、従来の海運コンテナトレーラーを主体としたサービスから、さらに中型、小型トラックはもとより乗用車、軽自動車まで幅広い車種への対応を実現されたとのこと。



代表取締役社長
細田 健氏



執行役員 管理部 部長
高畑 清一氏



キャタピラツインエース2基で作業の効率化を実現



確実、迅速なサービスで
顧客の信頼を獲得

コンビネーションテスターを
前後に2基配置した検査ライン



3軸車、トラクターヘッドなど
あらゆる車種に対応



効率化の一方の柱は
「ネットワークシステム」

伝統に安住せず、変化・革新を目指す

新工場コンセプトは、まず「ネットワークシステム」による車検整備のコンピュータ化、さらに各種の省力化、効率化機器などの最新設備により作業性と効率化面で大きな飛躍を実現することです。サービスストール5ストールにはツインエース2基、テストリフト「プラトン」2基をはじめとする各種設備を導入、また検査ラインには車検整備システム「ネットワークシステム」を導入されています。ユニークなのは工場前面のスペースの制約から、コンビネーションテスターを前後2個所に設置されていることで、これにより全長の長い車両の検査も可能とされています。新工場の完成により、「以前の平和島工場からみると作業性は飛躍的に向上しました」と、管理部門を統括される高畑執行役員。長年の信頼の積み重ねにより、同社の顧客構成には優良法人が多く、これが業界で「しにせ」といわれる同社の一番の強みといえるでしょう。しかし「つちかってきた伝統の上にあぐらをかくのではなく、常に新しいものに挑戦していくことが大切。私を含め全員で変わっていくことでさらに成長を目指します」と(細田社長)と、これまで実質的には行なわれていなかった営業部門、企画部門などに幅広い人材を登用、いっそう組織の強化を図り、顧客の信頼という基盤の上に、さらに飛躍を目指す体制を確立されています。

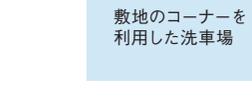


確実、迅速な検査に貢献する
画像処理式全自動
ヘッドライトテスター

各種オイルと、ブレーキ液交換の
「ハイブリター」も集中給油式



揚程1.6m、独自仕様の
「プラトン」テストリフト



敷地のコーナーを
利用した洗車場



油面監視装置を備えた
廃油ドレン



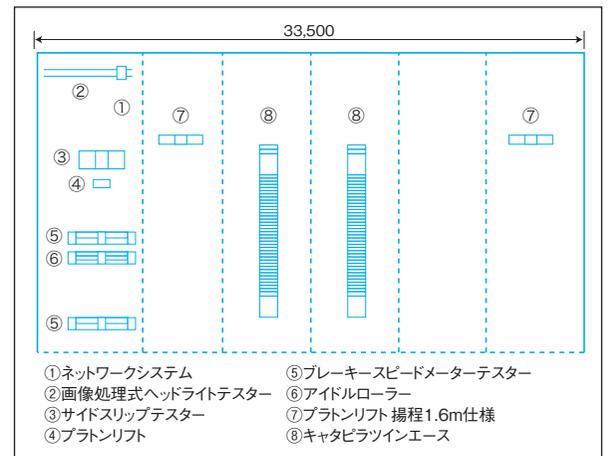
新・廃油タンクは工場地下に埋設



カフェのような雰囲気、
と食堂もカラーコーディネート

安心、安全のサービスで 本来の顧客満足を

「私たちが目指すのは本来の安全、安心を提供し、ご納得いただける整備を提供すること」(細田社長)、すなわちそれが「本来の顧客満足のあり方」と考えられているからです。新工場でのサービス、営業体制の確立により、「あとはお客様にいかに来て頂くか」(高畑執行役員)が今後の課題です。そのため、移転による顧客の利便性をカバーする入庫拠点の整備、钣金塗装の内製化、トレーラー特化工場の構想、さらにWEBを利用した入庫予約システムなど、画期的なビジネスモデルの実現も視野に経営の革新に取り組まれています。新工場ははからずも震災直後の混乱の中でのスタートになりましたが、「当社は戦後の混乱期にスタートしましたが、今回の災害に対しても専門者のネットワークを生かして、東北の復興にもつながるサービスを提供していきたいですね」(細田社長)と、力強い言葉で意欲を述べられています。

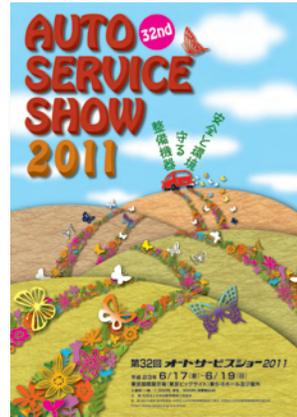


第32回 オートサービスショー 開催!!



バンザイブースへのご来場、ありがとうございました。

6月17日から19日までの3日間、江東区有明の東京国際展示場（東京ビッグサイト）において第32回オートサービスショーが開催されました。平成19年以来、4年ぶりの開催となった今回のショーには「安全と環境を守る整備機器」というテーマのもとに98社が出展、同展示場東5～6ホールと屋外展示場をステージに各種の最新サービス機器の展示を行いました。3日間の来場者は31,000人あまり、バンザイブースも多数のお客様で賑わいました。バンザイブースでは「感動ソリューション」をメインテーマとして、環境、安全、診断・提案へのソリューションをご提案。各コーナーではディスプレイモニターによる分かりやすい商品紹介により主要機器のご紹介を行いました。



3日間の会場となった東京ビッグサイト入口



3日間、お客様で賑わったバンザイブース



梅雨空にもかかわらず3万人を超えるお客様が来場

EV/HV



EV/HVサービス機器ももはや必須のアイテムに

EV時代に対応する急速充電器のデモンストレーション

環境整備

CVTフルード交換機など各種環境機器にも高い関心が寄せられた



小型車検



HV車の検査に「マルチコードリーダープラスBZ」が活躍



ネットワークシステムのモバイル情報端末「スマートパッド」をデモンストレーション

診断整備



診断サービスにはや不可欠のスキャンツール



コードリーダーも各種の最新機種を展示

タイヤ整備・アライメント



低扁平タイヤ、ランフラットタイヤにも対応可能なアーティグリオBZ

新発想の高精度3Dアライメントテスター「マイクロラインEasy3D」

ヘッドライトテスター

画像処理型、すれ違い灯、フォグランプ対応のヘッドライトテスターも各種ラインナップ



屋外



洗車機、ボディコーティングなど、美装機器にも関心が集まった屋外展示コーナー

洗車機器も環境対応モデルがこれからの主流

大型整備



キャタピラツインエースをはじめ省力化、省エネ化、安全作業に貢献する各種機器をご提案



スクロール式スクリーンとLED照明をオプション搭載したフラットワークステージX

リフト・ジャッキ



リフトを安全に使用するために使用状況を表示する情報モニターをご提案

ボディリペア&ペイント



車体修正システムや、超高張力鋼板などに対応する钣金作業機器も注目的



塗装ブースをはじめ、水性塗料への対応もご提案

SHOW ROOM

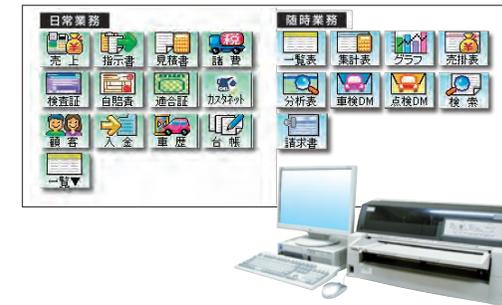
フロントマスターV3



検査業務から売掛管理まで、
マルチタスクな整備業システム！

- データの共有化
- 点検・検査から見積り、請求書作成までをサポート
- 拡張性の良さと社内業務システムとの連携可能

充実の基本機能&オプションで多彩なニーズに対応



予約管理
入庫と代車管理
に最適!

記録簿EX
検査ラインの自動
印字など検査業務
の効率化に!

営業管制官
営業アプローチの管理に!
攻めの営業ツール

ヘッドライトテスター HT-517シリーズ



フォグランプ測定に対応、スクリーン式ヘッドライトテスター

- 測定範囲をランプ最低取り付け高さ42cmから25cmへ拡大
- フォグランプの国際基準クラスB、クラスF3に対応

型 式	HT-517
測定距離	1m
移動方式	手動
光度指示範囲 (走行灯、すれ違い灯)	0~1,200hcd
照射方向指示範囲 (走行灯、すれ違い灯)	上15.0~下35.0(cm/10m) 左35.0~右35.0(cm/10m)
取付高さ指示範囲	25~120(cm)

オパシメータ GSM-200R



測定開始から判定まで、無線リモコンで簡単操作。

- 無線リモコンと自動判定機能を追加して利便性を向上。
- 見やすい7セグ表示、アクセル操作はLEDランプで表示。
- オプションでワイヤレスプリンターも用意。

型 式	GSM-200R
型式試験番号	JASEA-OP-13
測定範囲	光吸収係数 0.000~9.998m-1
使用環境条件	温度:5~40℃ 湿度:0~95% RH

標準付属品:電源コード10m、リモートスイッチ10m、採取管1.52m

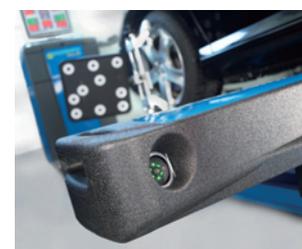
SHOW ROOM

マイクロライン EASY3D



マイクロラインシリーズに、待望の光学式アライメントテスター登場!

- マイクロライン初の光学式
測定方式が光学式になり、ローダウン車やドレスアップ車も確実に測定が行えます。
- 高精度測定
ターゲット1つに対して2つのカメラで測定、高精度です!
- コンパクト・省スペースなセンサーヘッド
センサーヘッドはリフトまたは床面に設置、アライメント以外の作業時は収納が可能!
- ランナウト補正が簡単!
車両を前後に動かすだけで、簡単・短時間にランナウト補正が完了!
- アルミホイール用アタッチメントが標準付属
アルミホイールに傷をつけないアルミホイール用アタッチメントが標準付属(ML-EASY3D-ACのみ)。



測定項目

	キャンバー	トー		トレッド幅差
フロント	キャスター	TOOT	追加測定機能	ホイールベース左右差
	キングピン角	セットバック		アクスルオフセット
	キャスター調整機能	最大切れ角		サイドオフセット
	リア	キャンバー		スラストアングル
	トー	セットバック		

主な仕様

型 式	ML-EASY3D
センサーヘッド寸法	W370×D650×H150mm
センサーヘッド重量	約9.3kg
キャビネット寸法	W610×D660×H1200mm
キャビネット合計重量	約110kg
入 力 電 源	AC100V
動 作 温 度	+5℃~+40℃

ゲートリフトスリムⅡ



スリムタイプの2柱リフト、ひろびろ作業空間!

- 余裕の4トン能力で小型トラック、RVにも対応!
- 昇降のスムーズな電動油圧駆動式
- 前後オフセットアームにより車両位置合わせ後のドアオープンが広く取れる
- メカロック機構(ラック&爪)、安全弁、アーム振れ止め装置など各種安全装置を採用

型 式	GLY-40
対 応 車 種	軽~普通乗用車 小型トラック(ロングボディは除く)
能 力	4,000kg
揚 程	1,750mm
前アーム寸法	600~1,155mm
後アーム寸法	894~1,429mm
全長×全幅×全高	1,230×3,550×3,760mm
操 作 方 法	(上昇)押しボタンスイッチ、(下降)レバー操作
駆 動 方 式	電動油圧・ワイヤーロープ同調
受け金最低地上高	FL+120mm

SHOW ROOM

セカンドインパクト タイヤチェンジャー TCSI-41AL



基本機能に絞り込んだ、ベーシックモデル・タイヤチェンジャー

- 作業性の良いスイングアーム式
- 22インチ対応のスタンダードモデル
- 基本機能に絞り込んだ充実装備
- タイヤサポートアーム、ジェットビードシーターをオプション設定

型 式		TCSI-41AL
マスト動作方式		スイングアーム式
対 象 ホイール	径	12~22インチ
	幅	3.5~9インチ
最大寸法(mm)/重量		W1,245×D1,075×H1,715/ 約200kg
使用空気圧		800~1,000kPa
テーブル回転速度	50Hz	6.8rpm (±3%)
	60Hz	7rpm (±3%)

セカンドインパクト ホイールバランサー



WBSI-646

ベーシックタイプから高性能モデルまで、
選べる3機種をラインナップ。

- ホイールガードを標準装備
- アルミホイールの美観に配慮したウエイト分割機能を搭載
- 19インチモニター、イラスト表示で視認性を向上(WBSI-646)
- ゲージによりホイールサイズを全自動入力(WBSI-646/626)

型 式		WBSI-646	WBSI-626	WBSI-616
対 象 ホイール	径(インチ)	~25		1.5~20
	幅(インチ)	1.5~20		1~20
	最大重量(kg)	65(タイヤを含む)		
表 示 方 法		カラー液晶モニター	7セグメントLED	
設 定 値 入力方法	ディスタンス	ゲージによる自動入力/手動入力	手動入力	
	ホイール径	ゲージによる自動入力/手動入力	手動入力	
	ホイール幅	ゲージによる自動入力/手動入力	手動入力	
電 源		AC200V単相 50/60Hz		
消 費 電 力		350W	250W	200W
最大寸法	W×D×H(mm)	1,333×791×1,896	1,075×709×1,908	
	重 量	約145kg	約136kg	約104kg



WBSI-626

WBSI-616

SHOW ROOM

トラック専用マルチコードリーダー TPM1000BZ-TR



9月中旬発売予定

バンザイオリジナル、待望のトラック専用診断機!

- 国産4トラックメーカーに対応
- P(エンジン系)・B(ボディ系)・C(シャシ系)・U(ネットワーク)コードの読み取り・消去が可能
- 作業サポートにてDPF強制燃焼、インジェクターID呼出・登録等に対応

型 式		TPM1000BZ-TR
外部デバイス	SDカードスロット	
パソコン接続I/F	RS232Cシリアルポート	
標準 I / F	CAN、ISO9141、KWP2000、1850PWM、J1850VPM KWP1281、DDL、MMC	

プローブインII ビデオスコープ PRO-IN2



9月中旬発売予定

動画・静止画が撮影可能になった
UV対応ビデオスコープ。

エンジン内部、ミッション周りなど、暗くて確認しづらい場所をリアルタイムで表示できるビデオスコープです。

- 静止画・動画の保存・再生が可能
- 2方向を切り替えできるデュアルイメージケーブルが標準付属
- LEDライトで暗い場所もOK
- ビデオOUT機能でテレビ、ビデオへの録画も可能
- UV対応ケーブル(オプション)でエアコンガス漏れ検査も可能
- マイクロSDカード(メモリーカード)内蔵により、静止画・動画をパソコンに転送可能

診断機能付バッテリー急速充電器 GR-1-100



メンテナンスフリー・
密閉式バッテリーにも
充電できる急速充電器

- 充電開始前に診断・バッテリー良否判定
- 充電開始から充電終了まで1時間以内
- 充電後にトップオフモードに切り替え可能
充電完了後に弱電流充電を行い、充電後のバッテリー放電を防止します。
- ジャンプスタート機能搭載
立ち往生した車両に250アンペアの急速充電を行い、すぐにスタートが可能です。

スーパーリライト KT54401W5T/P/I



水銀灯に代わるECOの光!

消費電力50%カット!
寿命4倍の高天井用蛍光灯器具

- 消費電力・CO₂排出量50%カット
- LEDを凌ぐ長寿命、45,000時間
- 水銀灯のRa40に対してRa85の高い視認性
- 国内メーカーすべてのランプホルダーに専用金具で取付け可能



来場者で賑わう会場・東門ゲート前



セレモニー会場



会場エントランス

■急拡大する市場に各国の メーカーが参加

そんな中国で急拡大する自動車市場と世界の工場たる生産能力を垣間見ることができる、第55届全国汽車保修検測診断設備(春季)展覧会(AUTO MAINTENANCE&REPAIR 2011)が3月16日から19日までの4日間開催されました。

昨年の開催場所からは北京国際空港にほど近い、中国国際展覽中心(天竺)新館に場所を移して開催され、開催後の公式発表によると、出展メーカー1,015社、来場者数51,159人、そのうち海外からのバイヤーが3,316人とのこと。



E2フロアのバンザイブース、全体では同様のフロアが5つ



パネル修正のデモに見入る来場者

省力化機器から診断テスターまで盛りだくさん展示のバンザイブース



関心の高さにサービス市場の熱気が感じられる

先進国での自動車の生産・販売が大きく落ち込むなかで、目覚ましい成長をとげる中国自動車産業。

2009年に販売台数で米国を、生産台数で日本を追い抜き、世界最大の規模を誇るまでに成長している中国の自動車産業。また2001年のWTO加盟以降世界の工場としてありとあらゆる世界のモノを作ってきた中国。

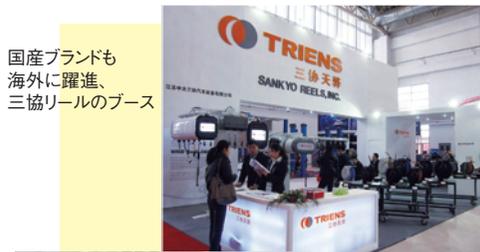
自動車アフターマーケット関連機器も例外ではありません。世界への輸出を背景に急速に成長しています。

■市場ニーズに合わせ、 幅広い最新整備機器を展示

バンザイグループは昨年に引き続き中国市場へのアピールの為、中国現地法人の万歳汽車設備商貿(上海)有限公司としてこの展示会に出展し日本で実績のある各種整備機器をアピールしました。おりしも東日本大震災の翌週の開催とあって、日本からの応援や出張などに多少影響を受けましたが、無事開催することができました。

万歳(バンザイ)ブースは外資系企業が集まるHALL E2に出展。昨年よりも広いブースに、リフト・各種チェンジャー類・車体修正装置・溶接機・軽板金システム・各種診断機器などを展示し中国市場のユーザーへアピールしました。

高品質な日本ブランドのリフトと、実際に修正作業を実演した板金補修にはとくに高い関心が寄せられ、多数の来場者が足を止め、見入っていました。



国産ブランドも海外に躍進、三協リールのブース



世界ブランド、スナップオンのブース



緑色のCIカラーでおなじみのポッシュのブース



ハイブリーダー、マルチコードリーダープラスも展示



ブローピンなど新商品もいち早く紹介



2柱リフト、タンデムリフトなど市場ニーズに合わせた省力化機器を提案



上海を拠点に中国市場の開拓にあたる万歳汽車設備商貿のスタッフ



会場の案内図、展示ブースは1000社を超える

ブースと大型車リフトが並ぶ屋外展示場

■年々レベルアップする市場のニーズを実感

年々開催規模は微増の傾向ですが、展示内容機器は年々レベルが上がってきており、日本市場にもすでに輸出されている機器も多数見かけました。毎年開催しているにもかかわらず、年々展示会のイメージが変化しており、今年は特に展示機器のレベルアップを肌で感じる事が出来ました。

セレットクラブ

平成23年度定時総会を開催

セレット修正システムを使用した車体整備のスペシャリストの集団、セレットクラブではさる4月10日、横浜市内で平成23年度の定時総会を開催しました。総会では平成22年度の事業・収支報告、役員改選、23年度事業・収支計画案の各議案の審議、決議ののち、引き続き(株)リペアテック出版の中川聖治氏により「車体整備業 今後の展望について」と題して講演が行われました。車体構造の変化やハイブリッド車の普及など、車体整備技術にも革新が求められるなか、セレットクラブでは各種の積極的な取組みを展開されています。



新年度への抱負を述べる会長、金城有介氏。

各地の有カボディファクトリーが一堂に。

MSC経営戦略会議

第34回定時総会・第99回研究会を開催

100回目の研究会を目前にしたMSC経営戦略会議では、6月16日～17日の2日間、江東区のホテル・サンルート有明において第34回定時総会ならびに第99回研究会を開催しました。今回の総会においては、22年度の事業・決算報告、23年度の事業計画、会計予算案の審議とあわせて役員改選が行われ、議長が若杉利男氏から小川利明氏にバトンタッチされるなど、新体制での取組みがスタートされました。研究会においては日刊自動車新聞社の畑野旬氏による「次世代エコカーとアフターマーケット展望」と題する講演が行われ、注目を浴びるHV、EVの市場背景の分析、今後不可欠となるスキャンツールなどの技術対応について分かりやすく論旨を展開されました。2日目は第32回オートサービスショー会場に場を移して各種の最新機器を見学、2日間にわたる研究会を終了しました。

新たな取組みへ抱負を述べる新議長、小川利明氏。



新たな陣容でMSCの活動を担う新役員の前ぶれ。

感動夢工場

第21回研究会を開催

「工房シリーズ」の全国組織、感動夢工場では6月17日～18日の2日間にわたり、第21回の研究会を開催しました。今回の研究会では日刊自動車新聞社の畑野旬氏による講演と、第32回オートサービスショーの見学を中心に、急速に変貌しつつある自動車サービスの動向と展望をテーマとして、会員相互による情報交換も交えて積極的な活動を展開されました。

開会挨拶を述べる副会長のビットワンOgawa 小川慶一氏。



各種データをもとに次世代エコカーの動向を分析する、講師の畑野旬氏。



BANZAI GUIDE

新役員のご紹介

バンザイでは6月27日開催された株主総会とその後の取締役会において、各取締役の委嘱業務を決定し、別記のとおり就任いたしました。今後とも皆様の一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長	藤 下 努
専務取締役(管理本部長)	高 野 茂
常務取締役(東日本営業本部長)	高 山 正 敏
常務取締役(西日本営業本部長)	浅 沼 芳 政
常務取締役(営業企画本部長)	太 和 田 至
取締役(関東支店長)	黒 川 明 彦
取締役(経理部長)	佐 藤 誠
取締役(経営企画管理室長)	柳 田 昌 宏
常勤監査役	吉 田 勝 男
監査役	原 田 進 安
監査役	及 川 恒 夫

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

バンザイニュースNo.277にて実施いたしましたアンケート調査では多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。バンザイでは皆様から寄せられました貴重なご回答、ご意見をお客様満足度の向上に生かしてまいります。今後ともご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

編集後記

<高泉>



今回の訪問はあいにくの雨でしたが、彌生ディーゼル工業株式会社、細田社長様はじめ皆様にお取り計らいいただき、無事に取材を終えることができました。社員食堂をカフェ風にアレンジされる等、従業員満足への取り組みを随所に施され、働きやすい職場作りを徹底されていました。それにもまして、取材中に何台も整備車両が出入りするところはさすがと言うか、圧巻でした。